

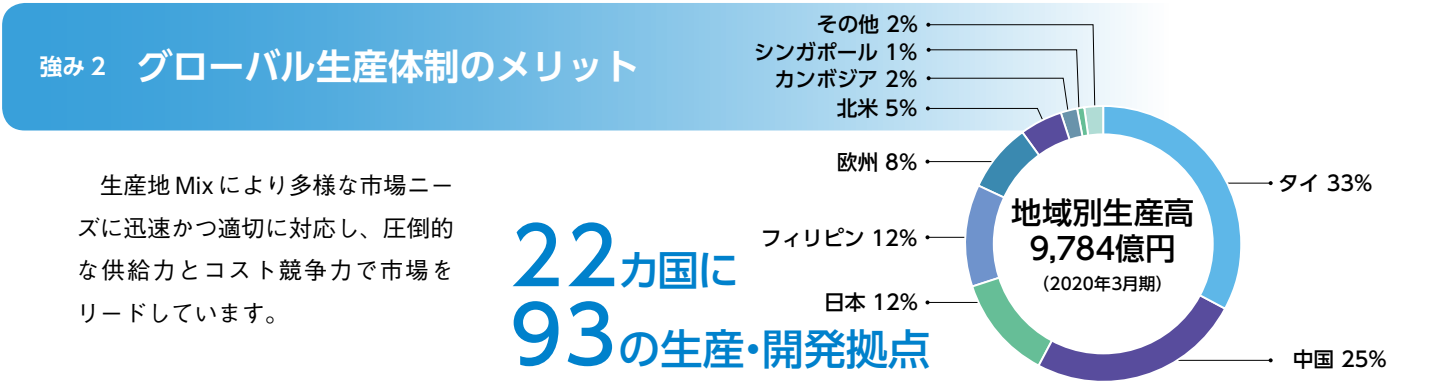
製造資本
の強み

「垂直統合生産システム」と
「グローバル生産体制」

強み1 垂直統合生産システムの強さ・メリット

自社技術で設計・開発から組立・検査まで社内対応

垂直統合型の一貫生産（構成部品から工作機械まで自社ですべて製造）することで、高付加価値製品の効率的な生産を実現しています。



強み3 蓄積された製造ノウハウ

全ての国の全拠点で
同一基準の製造工程を徹底



製造資本
の戦略

「超精密機械加工技術」と
「大量生産技術」を両立

戦略1 安全・安心な製品の供給

品質マネジメント体制

当社グループは、グループ全体を対象とする「グループ品質マネジメント規程」を制定し、製品、サービスの安全性確保と事故の未然防止に取り組んでいます。

品質マネジメント体制は、最高責任者を社長執行役員とし、その諮問機関として「品質マネジメント委員会」を設置しています。その下位組織として各事業部を代表する品質保証実務責任者による「品質保証責任者協議会」を設置し、定期的に個別の品質課題の情報共有や、同様の問題について再発防止に取り組んでいます。

リスクアセスメントの実施

当社グループの製品が使われる最終製品のなかでも、万が一問題が発生した際に、社会に与える影響が大きい製品に関しては、本部組織と各事業部が協働でリスクアセスメントを実施し、そのリスクの低減を推進しています。

お客様満足度調査

当社グループでは、各事業部が主体となってお客様満足度調査を実施しています。その評価結果は各事業部門にフィードバックされます。お客様から一定の基準を下回る評価をいただいた場合には、部門横断での改善を検討、実施しています。

戦略2 スピーディーな供給力の維持・向上

当社グループでは販売部門と製造部門の「意思疎通」を行うためのシステムを作り、お客様からの受注残・今後の需要予測数、販売部門から製造部門への発注残、販売実績と生産計画のデータを共有することで、スピーディーな供給力の維持・向上を図っています。

各国の販売部門には客先動向、在庫状況を見ながら、製造部門に生産手配を行う部署がありますが、他国の該当部署と連携しており、急ぎの場合は在庫の融通、生産手配の優先順位の見直しを行うことで、お客様の要求に応えています。これらの情報・状況は、販売部門内部だけでなく、

製造部門・物流部門とも常に共有され、製造部門ではお客様の必要としているアイテムの在庫を常に適切な数量を保持する管理を遂行しています。

なお、マーケティング情報を活用することで、将来の急激な市場デマンドの上昇に備えています。

戦略3 製造ノウハウの継承

製造ノウハウ継承コンセプト

ものづくりは、ひとつづくりと考え、
人材を**人財**にするひとつづくり

をコンセプトに製造ノウハウの継承に取り組んでいます。部品加工においては、部品の加工精度を追求することで、製品の性能を向上させ、付加価値を上げるだけでなく、組み立て部門の歩留まり及び生産性の向上させることができます。そのための技術、グローバル感覚、専門性とのバランス感覚をもった**知識を知恵に変えることができる“人”**の育成を通じて製造ノウハウの継承に取り組んでいます。さらに継承された製造ノウハウが属人化することなく、チーム内で共有されるチームづくり(チームビルディング)を目指しています。

